

細萱 桂太

法政経学部 法政経学科 政治学・政策学コース 2021 年卒

① 自身の仕事

公務員・事務官

② 自身の仕事の紹介

私は 2021 年（令和 3 年）4 月から事務官として国土交通省で働いています。以下はあくまで私の 1 例ですが、皆さんに国家公務員の仕事について知っていただき、参考としていただければ幸いです。

私は入省後、鉄道局に配属され、1 年目は部局の法令窓口を担当しました。鉄道局が所掌する法令の改正のほか、他部局・他省庁の法令改正への意見出し等を局内外の担当者とともに行いました。また、事件・事故の対応や外部からの問い合わせ対応も行い、大学時代に時代に学んだ法律の基礎的な考え方を生かしつつ、法令の解釈・整理を行いました。法令の改正や運用にあたっては、大学で学ばない実務的な知識や技術もあり、1 年間、法令という社会を動かす手段の基礎を、仕事を通じて学びました。

2 年目となったこの 4 月には、部局の法令窓口から企画窓口の担当へと異動となりました。同じ鉄道局内でも、仕事内容は全く変わり、審議会や検討会の事務局や部局の政策のとりまとめ等の業務を行っています。これまで触れてこなかった税制や予算にも関わることとなり、勉強の毎日です。

私の仕事は 1～2 年で異動があり、本省の内部部局や地方の出先機関での勤務ほか、場合によっては他府省庁や地方公共団体への出向、海外勤務も経験することができます。その度に新たな人に出会い、新たな分野や業務についての知識を身につけながら、成長することができます。国家公務員の仕事は、楽な仕事ではありませんが、この仕事に就いていなければ知ることも、関わることもない仕事が多く、ニュースの裏側を知り、社会を動かせる非常に面白い仕事であると感じています。

私は元々地方公務員を目指して就職活動を始めましたが、途中で民間企業や国家公務員を視野に入れ、最終的に国家公務員として働くことに決めました。皆さんには、是非視野を広く持って自分に合ったキャリア選択していただきたいと思います。

③ 自身の業界へ興味がある在学生の皆さんへのアドバイス

公務員（事務職）の業務は幅広いため、学業面でいえば、法政経学部が一番の強みである幅広い学びを生かすことができます。例えば法令改正 1 つ取っても、法学コースで学ぶような法律の基礎的な考え方が役に立つことはもちろんのこと、法令改正の内容によっては経済学コースや経営・会計系コースで学ぶような経済政策や企業会計等の知識が必要となります。私は、入学時から社会の課題解決に資する方策について学びたいとの思いから政治学・政策学コースを選択しましたが、どのコースを選択しても他コースの授業も履修し、幅広い学びをすることが事務職の公務員として働くには役立つと考えています。

また学業以外の面でいえば、国内外問わず、様々な地域赴いて、その地域の特色ある文化や産業を

体験したり、多様な人脈を形成したりすることも、事務職の公務員として大きな強みとなると私は感じています。国家公務員の仕事であっても、具体的な地域や事例の想定をもって仕事をすることも多く、現場の実情を知っていることは相当な強みになると思います。一朝一夕でできることではないため、是非、学生時代に多様な経験を積んで欲しいと考えています。

最後に、公務員以外の仕事にも言えることですが、「周りの人とうまくやれるかどうか」で仕事の成果が大きく変わるということを多くの場面で感じました。頭の回転の早さや知識量、説明の上手さが仕事の成果に直結することは言うまでもありませんが、それと同じかそれ以上に、友好的関係を築き、あるいは齟齬なく報連相を行い、あるいはタフな交渉を進めることが重要であると思います。私は環境 ISO 学生委員会に所属していましたが、学生時代に異なる立場や考え方、バックグラウンドを持つ人々とかかわることができ、仕事に生きる非常に良い経験ができたと感じています。皆さんにも、是非、サークル活動やアルバイト等を通じて、学生のうちに多様な人々との交流を持ったり、何かを成し遂げたりする経験をしていただければと思います。

(2022 年 8 月)